

# 第550回テレビ岩手放送番組審議会

1. 日 時 2019年3月19日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 8名

委員長	三浦 茂樹
副委員長	恒川 かおり
委員	大橋 綾子
委員	佐藤 健志
委員	高橋 司
委員	渡辺 理雄
委員	前田 千香子
委員	石田 亨

欠席委員 1名

委員	加藤 千晶
----	-------

社側出席者	檜崎 憲二 (取締役会長)
	榎野 信治 (代表取締役社長)
	青山 尚之 (専務取締役 兼 営業局長)
	柴柳 二郎 (報道制作局長)
	小形 恵一 (報道制作局報道部長)

事務局	畑山 篤 (取締役編成局長 兼 放送番組審議会事務局長)
	平山 亜希子 (編成局編成業務部副部長)

#### 4. 議 題

1. 3/11（月）15:50～16:50

テレビ岩手報道特別番組 復興そして自立への道～東日本大震災から8年～

2. その他

#### 5. 資 料（資料として以下のものを配布）

・視聴者からのご意見

#### 6. 意 見

##### 委員側意見

○印象深かったのは各所で定点観測の画像が流れ、わかりやすかったと思う。最初、がれきが沢山あって、それが少し経つとかさ上げの工事が始まって、色々建物が建ち、復旧出来ているなという流れがよくわかった。

○人口の数字はどの報道を見ても今より2割減という報道ばかりだったが、実態としては違うのではないか。

○考えさせられたことがたくさんあり、被災した人にとっては毎日が震災後で、3月11日に特別番組が必要なのだろうかと思った。それは誰のために必要な特番なのかと考えた。

○被災地の現状や西村由紀江さんのピアノの音楽など、テレビで伝えられる様々な形を総合的に使い充実していた番組だった。

○インタビューの中で出ていた方が、「我々は毎日が生活だ。10年、15年というのはマスコミの話だ」というコメントしていて、それを敢えて放送した制作者に敬意を表したい。

○最後は前向きなインタビューで締めくくっていたが、実際には苦しんでいる人たちもかなりの数がいるということアピールしてもよかったと思った。

○去年の同様の番組と比較しながら見たが、内容に継続性があったほうがよかったかなと思った。

○災害公営住宅の整備状況が進捗率で紹介されていたが、入居率や物件ごとのばらつきを取材報道してもよかった。

○「復興の光と陰」として紹介されたパートで紹介された方が気の毒ではないかと思った。表記も「陰」ではなく「影」ではないか。

○タイトルから深刻な内容を想像していたが、今回は全く違った感覚で見ることができ、音楽やピアノの力なのかなと思った。つらいことを受け入れるときに、音楽の癒しの力が寄り添うことで、受け入れやすくなる。

○冒頭でアナウンサーの方が、被災の人口を概数ではなく、実数で言ったことが大事だと感じた。目に見えないものの復興がこれから大切だと言っていたが、まさにその

象徴と言える構成だった。

○「祈りのパーク」の場面で、アナウンサーが防災市民憲章を紹介していたが、映像としてその文字をしっかりと映してもよかった。

○毎年3月11日に放送する意味は絶大にあると思っている。沿岸の風景、懸命に生きている方々、それを支えている方々がいるということを映像で見せたこと自体が、毎年この番組の最大の意味なのではないかと思っている。

○釜石高校の高校生の津波防災授業の取り組みを見て、若い人の力はすごいと感じた。こういった若い方々の力がものの復興から心の復興を支える力になると感じた。

#### 局側意見

○定点観測は、発災直後に応援に入った読売テレビから撮影しておくべきと助言をいただき定期的に撮影しているもの。

○「光と陰」という表現はもう少し考えるべきだった。

○人口や、仮設住宅等進捗率などの数字については、表面的な数字の裏側を掘り下げるなどの提案はヒントにさせていただく。

○震災直後から被災者にカメラを向けるところから、取材するもの全員が撮っていいかどうか、自問自答との戦いだったが、テレビ局として撮影するのをやめしまうと、伝わらなくなる事態を招くと思っている。

○震災を忘れないという一方、忘れることの自由もあるが、「津波の映像が出ます」などの表示が出ることもあるが、我々にはこの震災の記憶を風化させてはいけない、子孫に伝える義務があるという思いがあり、「見る」、「見ない」はみなさんの自由にゆだねるしかない。

○特別番組で出し切れない内容について、年間のニュースの中で扱っていく。

#### 7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

##### 公表の方法

- ① 自社放送 3月26日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ② テレビ岩手本社での備え置き
- ③ 読売新聞への掲載(別添)
- ④ 自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>